



拜啓時下益々御清榮大慶の至に御座候陳は御區衆議院議員候補者として堀田連太郎氏を推薦せられ候趣承り深く候補其人を得たるを賀し候小生等切に同氏の當撰を望み此に其趣旨を擧げ賛成の意を表明いたし候

議員其人を得ると否とは直接には撰舉區の榮辱に關し間接には國家の利害に係はり候大事と存じ候世人は撰出せられたる議員其人の伎倆品格によりて撰舉區の狀を評し候に付其議員を出され候區は其撰舉區の名譽たるべく此點に於て深く堀田氏を推薦せられたるを賀し候

堀田氏は大學に於て至高の教育を受け學士の榮位を有し工業の智識才幹に於ては我國屈指の人にて有之候に付今日の如く財政上の改革を要し又新思想を國家經濟及び工業上に應用するの必要ある時期に於て議院内に缺く可からざる有用の人と存候

堀田氏は歐米諸國を巡遊し普く其専門に關する工業を視察したるにより今後我國に起り今現に起りつゝある製鐵鑛業條例又は職工問題等に係る諸法律の改革等に付ては歐米諸國の新思想を立法部に注入するに尤適當なる人と存候從來の議會は單に政理政法を講ずる人のみにして實業上より立法の改革を計るべき人に乏きを憂ふるを以て此點よりするも堀田氏の如き學業經驗の人を撰舉せられんとを冀望致し候

堀田氏は其専門學術視察の餘力を以て歐米の文物を考究し社會一般の形勢にも通曉せるを以て革新の運に際する今日の政界には極めて立法部に必要の人と存候

堀田氏は曾て民間に於ては有力なる會社の顧問として實業經理の經驗を有し政府に入りては農商務鑛山技監として或は足尾銅山の政問題處理に參し或は製鐵所の創業事務を經理して皆其成績あり政治の變革により斷然官途を辭して其意見の實行を試みんとすると進退の間分明なる節を有する人に候

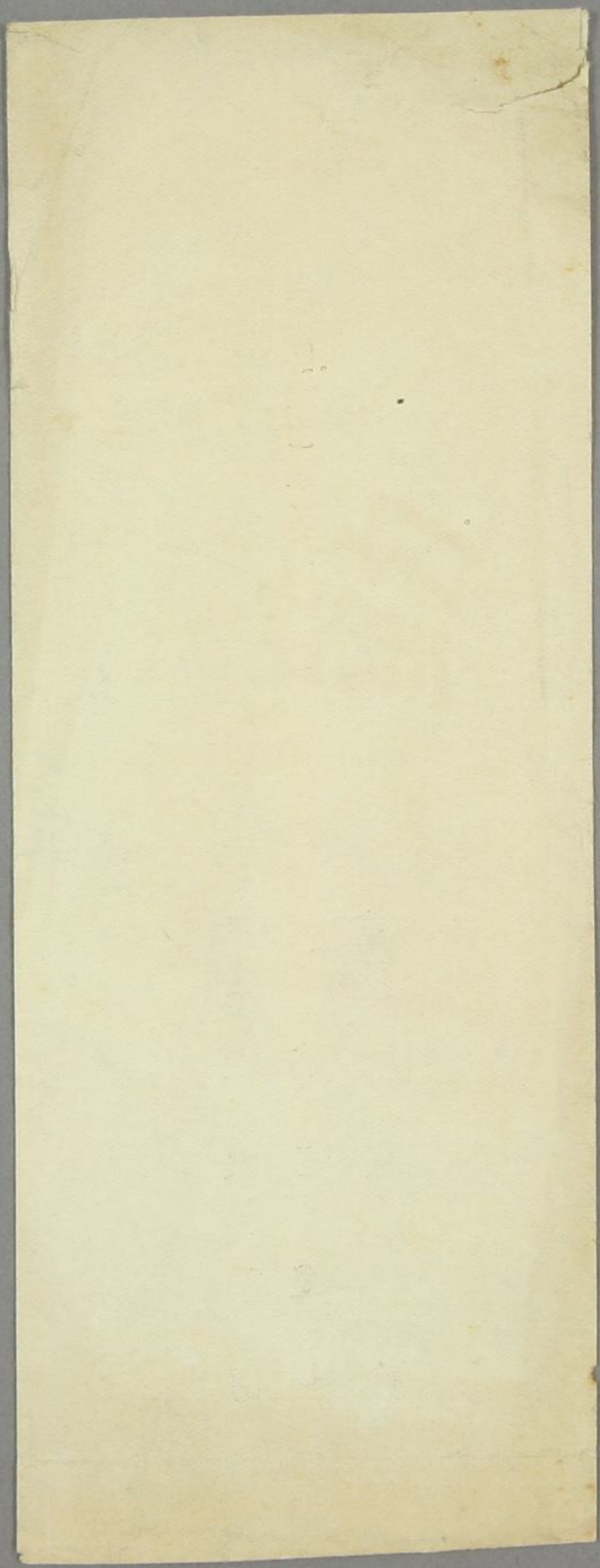
右の如き經歷は其議員たる資格を有し候仍て小生等は深く同氏の當撰を冀望し第十區有志諸君が同氏を候補者に推薦せられたるを慶し候此上は有志諸君の御盡力により首尾よく大多數の勝利を博せられんと切望の至にたへず候頓首

明治三十一年二月二十五日

伯爵 大隈重信
 法學博士 鳩山和夫
 澤榮一

殿





明治三十一年二月 日

法學博士	鳩	山	和	夫
	澁	澤	榮	一
	大	隈	重	信